

## 2020年度 修学旅行の実施状況について

---

2021年5月12日

J R北海道・J R東日本・J R東海・J R西日本・J R四国・J R九州  
公益財団法人日本修学旅行協会・公益財団法人全国修学旅行研究協会  
一般社団法人日本旅行業協会・一般社団法人全国旅行業協会

## 目次

---

- 本資料の配布にあたって
- 修学旅行利用実績及び、参加者の新型コロナウイルス感染症発生状況
- JR 6社の感染症対策
- 旅行会社における感染症対策

## 本資料の配布にあたって

---

修学旅行が学校生活における重要な教育の機会であることは論を俟ちませんが、コロナ禍に見舞われた2020年度はやむなく修学旅行の取りやめに至った学校も数多くございました。

一方で、2020年3月以降に実施された修学旅行団体について調べましたところ、修学旅行後に、新型コロナウイルスに感染が判明した事例は極めて少ないことがわかりました。

この客観的な事実は、修学旅行にかかる学校関係者・PTA関係者の指導や配慮、それに基づく生徒たちの行動、旅行会社や観光事業者等の諸対策が、感染防止の観点から一定の有効性があることを表すと考えております。

今後、各地域及び各学校において、2021年度の修学旅行の実施可否を検討するにあたり、本資料を材料の一つにさせていただければとの考えから、このような形での情報提供に至ったものであります。

是非とも参考にしていただければ幸いです。

## 修学旅行利用実績及び、参加者の新型コロナウイルス感染症発生状況

- ◆ 2020年3～12月に修学旅行に出発した71万人※1のうち、修学旅行後に新型コロナウイルスの感染が判明したのは30人※2
- ◆ これを10万人当たりの感染者数として、全国の感染者数※3と比較すると以下のとおり

修学旅行後の感染者数

4.2人

<

全国の感染者数

307.4人

→ 修学旅行後の感染者数は4.2人と大幅に少ない。

※1 JTB、日本旅行、KNT、東武トップツアーズの4社が取り扱った修学旅行の、2020年3月～12月出発分の合計。対象は全国、全輸送機関。

※2 修学旅行後に新型コロナウイルス感染症を発症した場合、基本的には保健所および学校から旅行会社に報告がある。それにより旅行会社が知得したケースをまとめたもの。(修学旅行中の感染とは限らない。)

※3 2021年1月31日時点のもの。

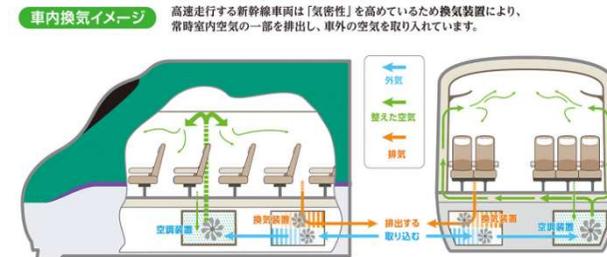
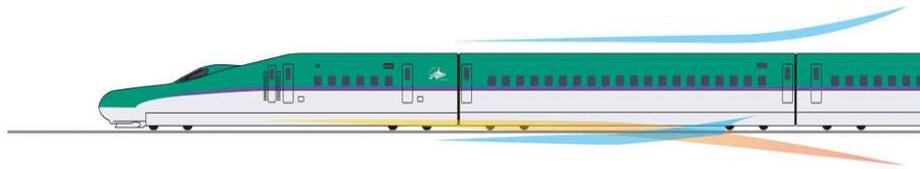
## J R 6 社の感染症対策（JR北海道）

### ◎駅における取り組み

- ・ドアを開放し換気を実施しております。
- ・窓口にアクリルパーテーションやビニールカーテンを設置しております。

### ◎列車内における取り組み

- ・吊り革、手すり、肘掛け、テーブルなどを定期的に消毒しております。
- ・新幹線の車内では、空調装置や換気装置により6～8分程度で車内の空気を入れ替えています。



- ・在来線の車内では、空調設備や乗降ドアの開放による車内換気を実施しております。

### ◎駅や列車内でのお客様への呼びかけの取り組み

ポスター・放送案内による車内換気、マスクの着用、咳エチケット、時差出勤などの呼びかけを実施しております。

### ◎車内改札に関する取り組み

あらかじめ発券された「指定席」に着席されているお客様については、きっぷの拝見を省略いたします。ただし、車掌が指定席の発売状況を確認できない場合は、きっぷを拝見させていただくことがあります。（きっぷはお預かりせず、目視により確認いたします。）

お客様に安心してご利用いただくため、「鉄軌道事業における新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン」に基づいて、さまざまな取り組みを実施しております。

詳しくは、<https://www.jrhokkaido.co.jp/korona/index.html>

# J R 6 社の感染症対策（JR東日本）

デジタルサイネージやSNS、駅構内や車内放送を通じて、弊社の感染防止対策をお知らせしています



- ▶ 定期的な清掃に加え、消毒液等による除菌を実施
- ▶ 主要駅に消毒液や石鹼を設置



- ▶ 駅係員がマスクを着用
- ▶ 飛沫感染防止シートを設置

消毒箇所 ※写真内で黄色で示した部分

※写真はイメージです。

普通車 吊り手 握り棒 窓枠 ドア付近



共通 トイレ 洗面台 (設備がある場合)

新幹線・特急車 肘掛 テーブル 窓枠 ドア付近



(客室内)

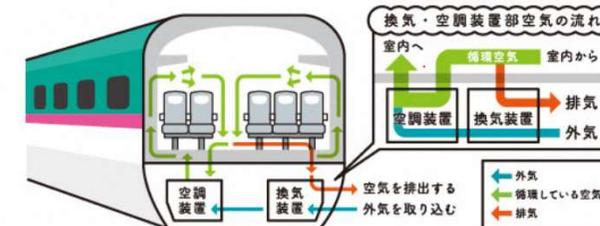
(デッキ)

新幹線車両の換気のイメージ(例: E5系)

高速走行を行うため、車内の気密性を高めています。換気装置により常時換気を行っています。空調装置で循環させている空気の一部を、換気装置で入れ替えることで外気を取り込んでいます。



東北新幹線 E5系



- ▶ 新幹線や特急列車は、空調装置等で換気し、通勤車両は扉の開閉や窓開け、空調装置等で換気を実施。またお客さまが手に触れる箇所の消毒を実施
- ▶ 車内放送やLED等でマスク着用や座席を回転し、対面での座席利用をお控えいただく案内を実施

詳しくは、<https://www.jreast.co.jp/stylingthenew/actions/>

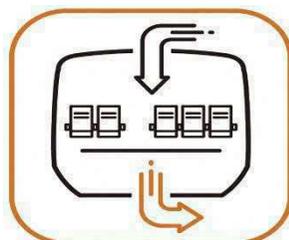
## J R 6 社の感染症対策（JR東海）

### 東海道新幹線における感染症対策

- ・「JR東海 新型コロナウイルス感染症対策 JR東海からのお約束」として、  
①余裕をもった座席提供、②6～8分で車内を換気、③駅・車両等の清掃、  
④飛沫感染の防止を行っております。



余裕を持った座席提供



6～8分で車内を換気



駅・車両等の消毒・清掃



飛沫感染の防止

- ・ご利用の全てのお客様に対して、マスクの着用、車内での会話は控えめに、座席を回転して対面での利用はお控えいただくよう3点お願いしております。
- ・弊社HPの動画をご覧ください、安心して東海道新幹線で修学旅行にお出かけいただければと存じます。

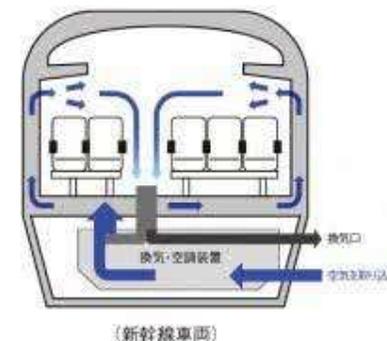
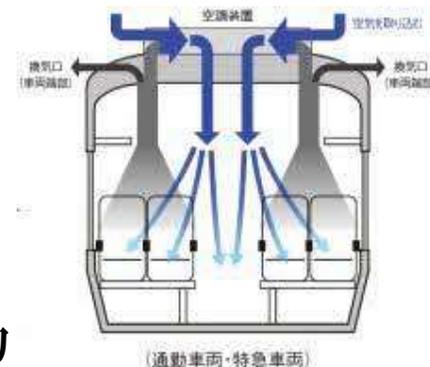
J R 東海HP 「新型コロナウイルス感染症対策に関する取組み」

URL：<https://recommend.jr-central.co.jp/hisabisa-tabi/promise/>

## J R 6 社の感染症対策（JR西日本）

### ●車内（換気）

- ・通勤車両、特急車両および新幹線車両は、車両に設置している換気装置や空調装置を通じ、常に換気を実施。  
※一部の通勤車両を除く  
※新幹線車両は概ね6～8分程度で車内の空気が外の空気と入換わり、通勤車両、特急車両は季節や車両形式によって変動
- ・特急車両に空気清浄機を順次、搭載。



### ●車内（消毒）

- ・車内の手すりや吊り革を定期的に消毒。

### ●駅の取組み

- ・待合室では、換気装置やドア・窓の開放により、外の空気と入換えを実施。
- ・階段やエスカレーターの手すり等の丁寧な清掃に努め、消毒も可能な限り実施。
- ・新幹線駅や在来線の主要駅に消毒液を設置。
- ・駅のエレベーターボタンに抗ウイルス・抗菌材の噴霧加工や抗ウイルス・抗菌性能を有したシートを貼付。



### ●J R 西日本HP「新型コロナウイルス感染予防の取組みについて」

URL：[https://www.westjr.co.jp/info/corona\\_taisaku.html](https://www.westjr.co.jp/info/corona_taisaku.html)

## J R 6 社の感染症対策（JR四国）

---

### 「密閉」対策（車内の換気）

特急列車・普通列車（一部除く）は空調装置等による換気を実施。  
窓が開閉できる車両の一部の窓開け

### 「密集」対策

通勤通学時間帯に主な駅を発着する列車の混雑状況をホームページ等で提供

### 「密接」対策

接客業務にあたる駅・ワープ社員、列車の乗務員等のマスク着用  
窓口係員は、可能な限り他のお客様との座席の間隔を空けて指定席を発売  
窓口及びワンマン列車の運転席と客室の間にビニールカーテン等を設置

### 消毒等

有人駅等にアルコール消毒液を設置

有人駅等において、接客カウンター、自動券売機、自動改札機、トイレ等お客様がよく触れる部分について定期的に消毒。

列車内客室のテーブル、肘掛け、座席取手、トイレ内つかみ棒等のお客様がよく触れる部分について定期的に消毒。

主要駅のタッチパネル式券売機や窓口カウンター等に、抗菌・抗ウイルスフィルムを貼付。

新型コロナウイルス感染症への対策については、今後も状況を注視し感染予防及び感染拡大防止のための対策を適宜実施していきます。

詳しくは、[https://www.jr-shikoku.co.jp/02 information/suspension/](https://www.jr-shikoku.co.jp/02_information/suspension/)

## J R 6 社の感染症対策（J R 九州）

---

### ◎安心して列車に乗っていただく取組み

（列車の換気）

- ・新幹線及び在来線特急列車については、空調装置による外の空気と車内の空気を入れ替え
- ・在来線列車については、停車時のドアの開閉や窓開けを実施

（放送によるお客様への呼びかけ）

- ・マスクの着用、列車内での会話に対する配慮や咳エチケットへのご協力

（列車の消毒）

- ・定期的な清掃にて除菌効果のある薬品等で拭き取り作業を実施

※感染者利用発覚時等においては、保健所に確認し消毒が必要となった場合等に、お客様の触れる場所を中心にアルコール消毒の実施

### ◎安心して駅を利用していただく取組み

（消毒液の設置）

- ・新幹線駅や在来線の主要駅にお客様用アルコール消毒液を設置

（券売機や改札機の消毒）

- ・駅で定期的な消毒作業を実施

※感染者利用発覚時等においては、保健所に確認し消毒が必要となった場合等に、お客様の触れる場所を中心にアルコール消毒の実施

（飛沫感染防止）

- ・改札口やみどりの窓口等にビニールカーテン等を設置

（放送によるお客様への呼びかけ）

- ・時差出勤やマスクの着用、咳エチケットへのご協力

詳しくは、<https://www.jrkyushu.co.jp/covid19/>

# 旅行会社における感染症対策～修学旅行～（JATA・ANTA）

## ①旅行の企画

- ・ 感染状況に応じた適切な旅行先の選定に留意。
- ・ 旅行の出発となる都道府県から、都道府県外への移動自粛の要請がなされていないことを確認する。

## ②企画の際の旅行サービス提供事業者等の選定

- ・ 旅程に組み込む運送機関、食事箇所、観光施設、体験プログラム等については、事前に適切な感染防止対策を取っていることを確認する。

## ③旅行実施判断

- ・ 感染状況の変化等により旅行の安全かつ円滑な実施が困難となった場合、またはその困難となる可能性が大きい場合には、旅行の実施を中止する。
- ・ 旅行開始後であっても、感染状況の変化によりその後の旅行の安全な継続が困難となる可能性が大きいことがわかった場合は、旅行を中止し出発地に引き返す。

## ④三密リスクを下げる旅程管理

- ア 交通機関：・ 旅程において利用する各交通機関のガイドラインに従った利用ができるよう旅程管理する。
- イ 宿泊：・ 宿泊施設においては各宿泊施設のガイドラインに従った利用ができるよう旅程管理する。
- ウ 観光：・ 観光地では、団体メンバーが集まって「密」の状態を作らないよう、ガイドレシーバーを利用したガイディング等を行う
- ・ 観光入場施設では、入り口や施設内部での密集・密接を避けるため、小グループに分け、時間差をつけた入場等の工夫を行う。
- エ 食事：・ 食事においては、各場所のガイドラインに従った利用ができるよう旅程管理する。
- ・ その他の場所での食事においても、食事時の飛沫感染を防ぐため、時間をずらす、椅子を間引くなどにより、距離の確保に留意。
- ・ 食事施設の従業員との接触をできるだけ少なくすることに留意（従業員からの料理説明を説明メモに変更するなど）
- ・ 人数が多い団体の場合は、昼食を弁当にするなどして、食事時の感染リスクを低減する。

## ⑤旅行参加者の健康管理、社員および添乗員等関係者の健康管理

- ・ 出発前に旅行参加者の体調確認（体温、体調チェック）を行い、発熱や感染の疑いのある症状を呈している方には、旅行参加を遠慮していただく。
- ・ 旅行中に体調不良となったお客様は、旅行から離脱し、他の参加者への感染防止の対応を行うとともに、最寄りの保健所や医療機関に相談・受診できるように事前に準備する。
- ・ 体調不良となり離脱した旅行参加者が、旅行の出発地または自宅等に戻るために必要に応じた旅行サービスを手配できるよう準備する。
- ・ 旅行中、要所要所での手洗い・うがいができるよう、適切な休憩場所等を選択する。
- ・ 旅行中、旅行参加者には熱中症予防に配慮の上、マスクの着用を要請する。
- ・ 旅行参加者が旅行帰着後2週間以内に新型コロナウイルス陽性と診断された場合には、旅行会社へ連絡いただくよう依頼する。
- ・ 旅行会社は感染者発生時に備え、旅行参加者もしくは契約者の連絡先情報を2週間保存する。

## ※ 参考 国内修学旅行の手引き（第4版）

URL：[https://www.jata-net.or.jp/virus/pdf/2020\\_domesticsschoolexcursionguide.pdf](https://www.jata-net.or.jp/virus/pdf/2020_domesticsschoolexcursionguide.pdf)